

■パネルディスカッション【事例報告】

◎篠山市

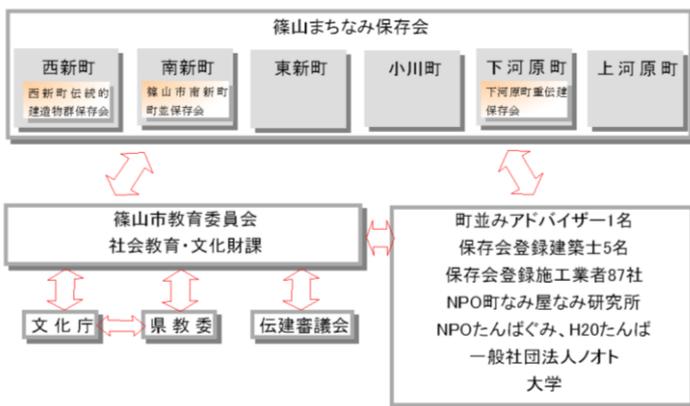
○テーマ：「協働のまちづくりの発展をめざして」
 ○発表者：篠山市教育委員会 社会教育・文化財課 主査
 成田雅俊

団体所在地：〒669-2397 兵庫県篠山市北新町 41
 ☎079-552-5792
 E-mail：syakaikyoiku_div@city.sasayama.hyogo.jp
 http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/tiikibunka/denken/
 denken.html

●まちづくりの推進体制

篠山市篠山伝統的建造物群保存地区（伝建地区）では、2004年度（H16）に策定した「篠山市篠山伝統的建造物群保存地区保存計画」に基づき、保存地区の歴史や自然が形成してきた固有の景観を、保存地区住民ひいては市民共有の財産として保存するとともに、交流や情報発信を通じたまちづくりに活用することにより、保存地区の生活環境の向上と文化環境の発展に資することを目的としたまちづくりを進めている。

実施にあたっては、行政・住民・専門家（建築士・施工者・NPOなど）の3者連携によるまちづくり活動が行われており、その中でも地元の自治会からなる「篠山まちなみ保存会」の活動が大きな役割を果たしており、2009年（H21）1月には、そうした篠山まちなみ保存会などの活動が評価され、篠山市は文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞した。



篠山地区のまちづくり推進体制図

●篠山まちなみ保存会の活動

2004年（H16）の伝建地区誕生を機に、伝建地区を中心に、歴史ある城下町篠山の町並み景観の保全、住環境の整備、個性的で魅力あふれるまちづくりをすすめることを目的に、伝建地区住民（西新町・南新町・東新町・小川町・下河原町・上河原町）等で組織された「篠山まちなみ保存会」が2004年9月10日に結成された。

保存会では、組織を結成以後毎月第2月曜日に定例役員会を開催し、保存修理候補物件の選定や現状変更行為の協議、独自事業の検討・実施、他市町村からの視察受け入れ、その他伝建地区内の諸問題に関して協議を行い、伝建地区のまちづくりを推進している。

また、2006年度（H18）からは保存会自主事業として、伝建制度を活用したまちづくりについて勉強する研修会や他伝建地区のまちづくりの状況を調査・研究するための視察研修の開催などの事業に取り組んでおり、まちの活性化を図るため、保存地区の保存・活用を積極的に推進するなど、町の活力創出に大きな役割を担っている。



保存会主催による「まちづくりワークショップ」

●市民活動の広がり

保存地区の事業が進むにつれて、近年では保存会活動以外で市民や関係団体等による自主的な取り組みも活発に行われるようになってきている。

代表的な取り組みとしては、「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」、「丹波篠山ひなまつり」、「丹波篠山にとってレトロな町歩き」、「古い町並みナイトウォーク」などの事業や、数年途絶えていた夏祭りの復活、ボランティア主体による「古民家再生プロジェクト」や「竹林整備」、防災に関する訓練・勉強会なども開催されており、こうした市民主体の活動が町の活性化、町の新たな魅力創出、交流人口の増加などに繋がっている。



「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」
 （今年は9/15～17、20～23の7日間開催）